

## 2021 年度第 3 回価格審査会の開催について

2021 年度第 3 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2021 年 6 月 14 日(月) ~16 日 (水)	
場 所	新型コロナウイルスへの感染防止策が引き続き必要とされていることから、上記期間中のメール会議とした	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長
	鈴木 孝之	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 工事予算計画室 室長
	鈴木 由香	株式会社日本設計 コスト設計部長
	辻 保人	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長
	橋本 雅宏	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：康広 誠己
	建築調査部	部長：高橋 俊一、次長：渡辺 弘一
	監査審査室	室長：今井 豊
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2021 年度第 2 価格審査会議事録(案) 確認

2021 年度第 3 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	<p>「建設物価」7月号、「Web 建設物価」7月号、 「土木コスト情報」夏号、「建築コスト情報」夏号の価格動向</p> <p>・価格が上伸した資材（工事費）</p> <p><b>【Web 建設物価】</b></p> <p>月積み契約分鉄鋼販売価格 形鋼（全国）、異形棒鋼(全都市)、ねじ節鉄筋(全都市)、H形鋼(全都市)、等辺山形鋼(全都市)、溝形鋼（全都市）、カラーリップ溝形鋼(全都市)、鋼板（全都市）、切板（全都市）、コラム(全都市)、ステンレス鋼(全都市)、線材製品(全地区)、鉄筋金網（関東、北陸、中部地区）、レディーミクストコンクリート（室蘭、土浦、取手、筑西、千葉、市川、船橋、多治見、美濃加茂、下呂A、下呂B、富士宮A、富士A、富士B、松阪熊野A、熊野B、大台、奈良、五條、宇陀、御杖、天川、十津川、上北山、川上、新宮、佐賀、武雄）、コンクリート用骨材(和歌山、橋本、有田、御坊、田辺、岩出、紀美野、有田川B、日高川B、串本、倉敷A、倉敷B、総社)、仮設・土木用木材(全都市)、一般建築用木材(全都市)、北海道地区木材、沖縄地区木材、コンクリート型枠用合板(全都市)、普通合板(全都市)、PC 鋼材(全都市)、コンクリート積ブロック(松山)、IV 電線(全地区)、鉄スクラップ(全都市)、銅スクラップ(全都市)、軽油(全都市)など</p>

**【土木コスト情報】**

橋梁塗装工、構造物とりこわし工、コンクリート積ブロック工ほか(北海道除く全都府県)など

**【建築コスト情報】**

コンクリート工事(新潟)、絶縁電線工事(那覇除く全都市)、土工事(全都市)、排水工事(大阪、広島除く全都市)、構内舗装工事(全都市)、配線工事(全都市)など

・価格が下落した資材(工事費)

**【Web 建設物価】**

PC 定着具の一部(全地区)など

**【土木コスト情報】**

鉄筋工(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)、橋梁塗装工、構造物とりこわし工、コンクリート積ブロック工ほか(北海道)など

**【建築コスト情報】**

鉄筋工事(水戸市、宇都宮市、前橋市、千葉市、東京都 23 区、横浜市)、型枠工事(札幌市、水戸市、宇都宮市、前橋市、さいたま市、千葉市、東京都 23 区、横浜市、甲府市、長野市)など

2. 比較資料

・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	「土木コスト情報」の土木工事標準単価において、抽出された全ての「土木工事標準単価」の動きは、北海道だけ下落という結果になっている。理由は、燃料油(軽油)の値下がり反映されているとのコメントであるが、今月、北海道で軽油が下落している情報は無い。「土木工事標準単価」の算定に用いた燃料油(軽油)はいつの価格か。	今月(夏号)の土木工事標準単価の算出に用いた燃料油(軽油)は、建設物価7月号の価格である。前回(春号)の算出では、建設物価4月号の価格を用いており、7月号と4月号の価格を比較すると、北海道地区だけが下落となっている。
質問 2	「建築コスト情報」で「専門工事業者の値上げが浸透し、上伸」とコメントされている工種は、「需要低迷に伴う受注競争」環境下ではない、つまり、下落している工種とは違って、ある程度の需要が見込まれている市場(工事)と考えて良いか。	上伸した工種も需要は低迷していたが、材料の値上がりなどコスト増の影響が大きく、これらの転嫁を目指す専門工事業者の値上げが浸透し、上伸した。

質問 3	レディーミクストコンクリートの松坂、新宮地区は、共に 2,000 円と大幅上伸している。これらの管轄地域である、三重、和歌山県では、協組が売り腰を強めるような需要増に繋がる新規案件は何かあったのか。換言すれば、需要家が安定調達を優先する気になるような新規案件が何かあったのか。例えば、同様に 3 ケタ台の大幅上伸をした下呂 A、奈良、室蘭地区では大型案件出荷が上伸理由としてコメントされているが。	松坂地区では、需要家の抵抗により交渉が難航したことを受け、協組が販売体制を強化し交渉に臨んだことで、目立った大型物件が無いながらも値上げが浸透した。新宮地区では、新宮紀宝道路関連工事などが発注されるなか、員外社がない状況を背景に協組が強腰で交渉し、値上げが浸透した。
質問 4	P C 用定着装置で、同一資材の異なる変動は単なる規格の違いによるものか。	同一帯内で上伸と下落が混在するのは、規格の違いによるものである。メーカーは製造コスト上昇を理由に値上げを行ったが、普通鋼棒工法用の径 36 以上の一部規格については製造コストを見直し価格を引き下げた。
質問 5	レディーミクストコンクリートの地区情報のコメントにおいて、「～の上昇（あるいは“増”）を理由に」と「～の上昇（あるいは“増”）などを理由に」とする記載がある。奈良地区の理由の背景に、原材料コストの増などが含まれるのであれば、「設備更新費用の確保や輸送コスト上昇など」と記載すべきではないか。	奈良地区で協組が値上げした主な理由は、設備更新費用の確保と輸送コストの上昇である。セメントなど原材料価格も上昇しているが、値上げ理由として強く押し出されていない状況のため、市況文では「設備更新費用の確保や輸送コスト上昇」と記載した。
質問 6	沖縄地区木材の「杉」だけがなぜ上昇しているのか。また、沖縄は輸入材には影響が出ていないのか。	沖縄では欧米材の流通量が僅少であり、掲載していない。杉は主に九州産が流通しており、昨今の市況動向の影響を強く受け上伸した。なお、沖縄地区木材として流通している輸入材は、メラピー、アピトンとなり、横ばい推移となっている。
質問 7	600V ビニル絶縁電線は、昨年より全国的にここ数年にない上昇が続いており、銅の価格も上がっているが、「目先、横ばい推移の公算大」なのか。	銅価格は高値で推移しているが、需要低迷を背景に需要家の値下げ圧力が強まっていることもあり、目先横ばい推移と判断した。引き続き動向に注視する。

質問 8	鉄筋加工組立で、「都心部では新規需要に乏しく、専門工事業者の稼働率も低迷している。」とあるが、職人不足は解消されておらず、受注競争が起きるほど関東で工事が減っているとは感じられないが、各エリア、何社にヒアリングを実施しているのか。ヒアリング先、すべてが同じ傾向なのか。	調査は、通信調査と聞き取り調査を併用し、各地区の取引実態を把握するうえで必要と考えられる社数の調査先を対象に行っている。関東地区の状況について、調査先によって若干の違いはあったが、稼働率が低迷し価格が下落しているとの回答が大半だった。
質問 9	「土木コスト情報」の鉄筋工で、材料となる鉄筋の価格は、対象となる首都圏でも軒並み上昇、労務単価や燃料油も上昇しているにも関わらず、コスト減となっている理由は何か。これらの諸要因を上回る需要低迷による受注競争があるとしても、首都圏のみ、鉄筋工のみに表れている理由は何か。	関東地区における鉄筋工事は、建築、土木分野ともに需要低迷が顕著である。こうしたなか、専門工事業者が採算確保よりも売り上げ確保を優先したことで、受注競争が広がり市況は下落した。なお、鉄筋工（市場単価）は、材料費を含んでいないため、異形棒鋼など材料費上昇の直接的な影響はない。
質問 10	鉄スクラップの価格は上昇していることは承知しているものの、奈良・和歌山地区の+61.5%は非常に上げ幅が高いと思われる。何らかの特殊事情があったのか。	奈良・和歌山地区の+61.5%は、ステンレススクラップである。ステンレススクラップは、クロム相場の上昇を背景に全国的に上伸が大きくなっている。奈良・和歌山地区に特殊事情があった訳ではないが、地区の間屋の購入姿勢の違いにより、同地区で大幅上伸となった。
質問 11	「土木コスト情報」の鉄筋工において、宮城県では復旧・復興予算が大きく減少しており、東京以上に新規需要が減少しているように思えるが、東京とは異なり 20 年 1 月から価格がほぼ横ばいで推移している。宮城地区で価格が下落に至らない理由は何か。	宮城地区は、東京地区が下落する前の 2019 年 3 月と 9 月に下落している。現在は、工事量減少を背景に一部専門工事業者による安値も見られるが、大半の専門工事業者が価格維持に努めているため、横ばいとなっている。
質問 12	「建築コスト情報」コンクリート工事（ポンプ圧送）において、圧送料金の廃止を伴う大幅な値上げとあるが、ここに書かれている従来の基本料金 55,000 円については別途圧送料金がかかっていたと考えてよいか。もしそのようであった場合、変動率の計算や表記の仕方についてはその点も考慮した方が良いのではないか。	従来は、別途「圧送料金」がかかっていた。計算方法は、該当ページ：「情」掲載頁 13 に【注記】に明示（「計算例」）している。体系変更など、変動率で表せない内容は、資料コメント欄にわかりやすい記載を心がけます。

質問 13	レディーミクストコンクリートにおいて、西日本地区は東日本地区と比べて価格が高いように見えるが、その中で高知のレディーミクストコンクリートだけは低価格である。その要因を知りたい。	高知地区には、協組が3つあり、民間物件を中心に3つの協組による販売競争が行われている。他地区に比べて価格が安いのは、こうした状況が影響しているとみられる。
審議結果	「建設物価」7月号、「Web 建設物価」7月号、「土木コスト情報」夏号、「建築コスト情報」夏号価格動向に問題はなかった。	

以 上